

VIVID LETTER

高次脳機能障がい者グループとの交流会 1

第4次長期計画策定 2

研修報告 2

各事業所報告 3

ひとこと通信/今回のいちおし 4



“VIVID”は高次脳機能障がいの社会参加を支援する特定非営利活動法人です。

特定非営利活動法人 VIVID(ヴィヴィ)
〒161-0033
新宿区下落合 4-20-16 ルビ目白 103
TEL : 03-5849-4831 FAX : 03-6908-3364
Eメール hbd-vivid@vivid.or.jp
HP <http://www.vivid.or.jp>
発行責任者 北村とし子

高次脳機能障がい者グループとの交流会 ～当事者同士で困りごとを話し合ってみました～

1月26日(金)に、フレッシュスタート目白と「高次脳機能障害者グループ 竹とんぼ」との交流会が行われました。「竹とんぼ」は、新宿区立障害者福祉センター内にある訓練グループです。以下、その模様をご紹介します。

フレッシュスタート目白と竹とんぼとの交流会は今年で2回目になります。

今回は、他の当事者の経験を通して生活のヒントを得ることを目的に「買い物・公共交通機関での困りごと、工夫」「支援者に伝えたいこと」というテーマでの座談会にしました。

座談会を行う際にいくつか工夫したことがあります。

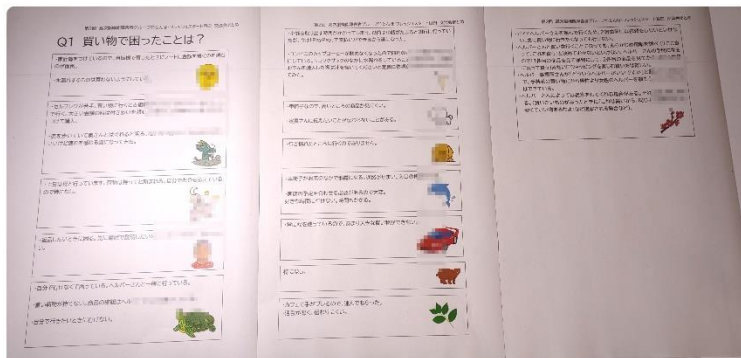
記憶や言語の障がいのため、その場ですぐに答えられない方もいるため、事前に参加者に聞き取りをして、自分の回答を見られる状態にして行いました。

また、支援者は参加者サポートに徹し、発言を控えました。

フレッシュスタート目白
管理者 遠藤 伸

座談会は2グループに分かれて和やかな雰囲気です。

- ・言語障がいがあるので、店と電話でやりとりしたい場合(返品など)にできない。
 - ・財布から小銭をとり出すのが難しい。しかし、スマホでバーコード決済ができるようになって楽になった。
 - ・交通機関では杖やヘルプマークを持っていても、あまり席をゆずってくれない…。
 - ・ガイドヘルパーを使って出かける時、ヘルパーさんに気を遣ってしまう。
- といった話が出ました。



困ったことを事前に出してもらったものを
まとめておきました

テーマから派生して「自転車」の話題で大盛り上がりしたグループがあるなど、時間が足りなくなるほど話題が尽きず、交流会を楽しんでいる様子が伝わってきました。

両グループの参加者がじゅうぶん交流できたのではないのでしょうか。

新宿区立障害者福祉センターでは、高次脳機能障害がい者支援者の連絡会も定期的に開催され

ており、病院のソーシャルワーカーや福祉事業所の職員等が参加し、情報交換を行っています。これも支援の充実のために重要な会となっています。

今後も区内の高次脳機能障害がい者支援を活性化するためにも、支援者・当事者それぞれの交流会に協力していきたいと思います。

第4次長期計画策定

VIVIDの第4次長期計画が策定されました。

高次脳機能障害がい支援を継続的にを行うために、第2次で障害者総合支援法に基づく事業への参入を計画・実現し、第3次で事業を安定させてきました。

第4次では、一部事業の見直しを行う予定ですが、就労継続支援B型事業所の事業をさらに安定させ、高次脳機能障害がいを中心にしつつも、開設来、取り組んできた他の障害がい者支援にも引き続き取り組んでいきます。

一人ひとりの尊厳・権利を尊重し、福祉分野を中心に、広く社会的役割を担っていくことを念頭

に、地域の居場所づくりなどの新たな夢も盛り込まれています。第4次では模索や検討の段階ですが、未来に向けた取り組みのスタートです。

6月の総会で承認されれば、この計画を実行していくこととなります。フレッシュスタート目白の懸案だった作業室の増床にも年度内に着手できる予定です。

夢を形にするには、地域の方々はじめ多くの支援者、利用者、職員、大勢の力が必要です。

いっそうのご支援ご協力をお願いいたします。

(事務局長：金尾敏恵)

研修実施報告

新宿区での集団指導の中で、BCP(事業継続計画)に関する研修が行われました。次年度から、すべての事業所が感染症対策と震災対策の2種類を策定することが義務化されます。講師は、自身で福祉事業所を運営されており、能登半島地震で被災した福祉施設にも足を運んでいる方です。

この研修で印象的だった点がいくつかあります。

ひとつは、先例を振り返って対策を考える必要がある、ということです。例えば、コロナ禍では物資が不足し、マスクや消毒液が手に入らなくなりました。このできごとを思い出し、再び起こ

っても対応できるBCPを作らなくてはなりません。

もうひとつは、障害がい施設の場合、それぞれの障害がいによって必要な支援が大きく異なるということです。個別支援計画と合わせて、個別の優先事項を挙げた方がよいということでした。

体験に基づいて対策をされている方の話は、やはり重みがあります。BCPの義務化により、テンプレートが提供されていますが、それを自事業に合う実践的なものにする必要があると感じました。

(フレスタ管理者：遠藤伸)

就労継続支援 B 型事業所 フレッシュスタート目白

フレスタの活動風景をお届けします。(管理者:遠藤伸)

外出プログラム

利用者企画で光が丘のバラ園に出かけました。



共同バザール



12月に新宿駅西口で開催のバザールに参加。新宿区内にある障がい者施設が一堂に会し、それぞれ自慢の品を販売。次はもっとフレッシュ自主製品の種類を増やしたい！

クリスマス・忘年会

目線の先は…



マジックショーで盛り上がる

“就労の心がまえ”を聞く

新宿区勤労者・仕事支援センターの「職業講話」を2月の利用者会に行ってもらいました。

内容は、職場でのあいさつ、質問の仕方、返事などの基本的なことを中心としたものと、最新の就労制度についての説明などでした。日頃、就労希望を口にされない方も「希望する」に手を上げるなど、早速効果あり?!

創作レクリエーション

既成の布バッグにカラフルな色付けをしました



ある日の緑化作業



週2回、高齢者施設の花壇の手入れに通っています

高次脳機能障害相談支援 VIVID

あきらめず申請・受給した年金で前向きな生活を

高次脳機能障がい軽く、受傷後1年経たずに会社に復職したものの、これまで通りに仕事ができず、どうしたらよいかという電話相談がありました。

5年前に開頭手術を受けた脳外科の病院に、年1回通院していますが、高次脳機能障がいの所見は示されず、精神保健福祉手帳や障害年金についての説明もありません。リハビリ病院でも手帳の話はなかったそうです。その後うつ状態になり精神科に数か月通院されていました。

相談内容から、仕事がままならないほどの症状があると思われ、手帳や年金の申請に必要な

診断書を書いてもらうため、別の病院を紹介しました。5年分の年金を遡及請求したかったのですが、その病院では脳外科の先生が高次脳機能障がいと診断していないので、現時点での診断書しか書けないとのことでした。あきらめきれないご家族が、うつで通院していた精神科の先生に相談し、診断書を書いてもらえることになりました。やっと年金の申請ができます。

ご家族があきらめずに動かれた結果といえます。会社での仕事が変わり、お給料が下がったとしても前向きに生活できるといういなあと感じるところです。

(管理者・相談支援専門員:太田三枝子)

ひとこと通信

フレッシュスタート目白（フレスタ）の利用者さんのコーナーです。

コンビニでアルバイトしている時、休憩時間の時に急に倒れました。

病院に搬送され、そのまま1年入院しました。退院した後は自宅へ戻りましたが、大事にしていたパソコンが入院費用として売られていてショックでした。

家に戻ってからは訪問リハビリを受けました。新宿区内の高次脳機能障がいの支援グループにも通いました。

フレスタに来て、1年ぐらいになります。週3日通っていましたが、慣れてきた今は週4日になっています。ヘルパーさんを利用して通っています。

作業は、自主製品作りやコーヒー豆の選別作業をしています。

自主製品はビーズやメモ帳を作っています。

片手で作業をしています。特に大変なことはありません。

フレスタはおもしろいです。他の利用者とお話をしたりすることが楽しいです。

家では、パソコンで映画やアニメを見えています。好きなアニメは「天上天下」です。

録画予約をされていて、1日5本とか撮れている時があるので追いつくのは大変です。

あと、ゲームをしています。

今後もフレスタへ通い続けたいです。

（神部 竜亜輝）



片手で器用にビーズ製品を作成中の神部さん（左）
完成したビーズアクセサリ（右）

ご寄付の報告

この紙面を使って、ご寄付の報告を行っています。

●VIVID へのご寄付

VIVID LETTER 前号の報告後・2023年8月1日～2024年1月31日までにいただいた寄付金の合計は、延べ9人、163,500円でした。

●フレッシュスタート目白へのご寄付

フレスタは、毎日、たくさんの品物をご寄付いただいています。

8月105件、9月97件、10月165件、11月133件、12月147件、1月98件でした。

第17回通常総会

2024年度の通常総会を以下の通り開催します。

6/14(金)18:00～19:00

NPO 法人 VIVID フレッシュスタート目白作業室

ご寄付のお願い

ご協力はいつでも受け付け中！
よろしくお願ひします。

【銀行口座への振込の場合】

三井住友銀行 国立支店 普通 7854639
ゆうちょ銀行 記号 10130 番号 91768901

他金融からのお振込みの場合

店名 〇一八(ゼロイチハチ) 店番 018
普通 9176890

【郵便振替口座への振込の場合】

郵便振替口座 00130-7-780312

名義・加入者名はいずれも特定非営利活動法人 VIVID

今回のフレスタいちおし 雑巾

2022年9月発行のこのコーナーで、雑巾、刺し子などの針仕事を始めたことをお知らせしました。

雑巾は、販売開始当初から、店頭に出せばすぐに完売となり、リピーターも多い人気の品です。

お客様に購入理由を尋ねると、

「すごく使いやすいのよ～！」と。

周りの方にプレゼントされている方もいるほどです。

縫い方は、当初より改良を重ね縁をかがって中を縫います。

1枚30円での試し販売から始まり、50円時代を経て、今年か



ら1枚100円で販売。

購入予約も可。ご利用ください。



赤い糸で周りをかがり中

編集後記

今年の報酬改定で「高次脳機能障害を有する者に対する報酬上の評価」が明記された。同障がいへの周知・支援を目的とする法人として感慨深い。一方、医療関係者でも理解不足ありの調査結果もある。VIVIDの役割はまだあるようだ。（金尾）